

エホバ (神)
として
2

義人
令和2年1月

新約聖書

ヨハネの第一の手紙

第3章

わたしたちが神の子とよばれるには、どんなに大きな愛を父から賜ったことか、よく考えてみなさい。わたしたち、すでに神の子なのである。

世がわたしたちを知らないのは、父を知らなかったからである。

- 2 愛する者たちよ。わたしたちは今や神の子である。しかし、わたしたちがどうなるのか、まだ明らかではない。彼が現れる時、わたしたちは、自分たちが彼に似るものになることを知っている。その御姿（みすがた）を見るからである。
- 3 彼についてこの望みをいだいている者は皆、彼がきよくあらわれるように自らをきよくする。

- 4 すべて罪を犯す者は、不法を行う者である。
罪は不法である。
- 5 あなたが知っているとおりに、彼は罪をとり除くために現れたのであって、彼にはなんら罪がない。
- 6 すべて彼におる者は、罪を犯さない。すべて罪を犯すものは彼を見たこともなく、知ったこともない者である。
- 7 子たちよ。だれにも惑わされてはいけない。彼が義人であると同様に、義を行うのは義人である。

エホバの証人の宣教師山口くん。

暑い中、宣教に回っているのだね。冷たい麦茶でもしんずる。遅くてもお寄りになること期待したい。私は健在です。ご苦労様です。またの訪問の機会を楽しみにします。ご自愛と神のご加護を祈念いたし。では近日。えらく媚びたけど、君に無理があるなら、本日は君のお父上はいかがですか。是非に。生きとし生けるもの、原罪に苦しむ。全て、エホバという大海に流れ込む運命にあった。大きな河、よどみも急流もある。どぶ、小川のせせらぎ、清き湧き水も。その中で、愛を忘れず生活を営んだ、神を信じたものへの報い、私は今、ここに生きている。戦争など、利に大義がつく。ホームレス救済など純粋な義に予算がつかないのが世間。キリスト者はいつも神の義を優先します。弱者への愛です。すると自分に情けが回って返ってきます。イエスは偽善者たちには不寛容だった。

何度も言う。神イエスとは俺みたいなもの。同意できないのは、盲人であり世間の富、名誉などの価値観を捨てきれないからだ。私に好意的になるとき、生活は百八十度、好転するだろう。神から理解力が与えられ、真実の愛と勇気が備わり聖霊の宮となる。神を敵に回さず、主体性を保ち、義を学ぶこと、心底望む。明日は来られますか。暑いので軽装でお寄りになれば。君の尊顔が懐かしい。神

の義と愛の流布、使命を果たす為、君の変化の模様を展望したい。期待します。山口くん、君の近況を知りたい。それだけ。邪推せずご来訪下さい。雑談の中から真理が見えたらいい。私怨はない。君もと信じている。有意義な会話を楽しみに。体調を整え、ご自愛ください。今後私たちに恩賞が天から下されるよう、愛を抱き歩みたいのです。その為には私の言葉に耳を傾けよということです。

そして現在、あなた方に媚び、控え目に譲歩した書き込みは、送信が聖霊により却下されます。私はエホバである。遠慮どころか主導的、積極的に関与せずにはおれない。法輪を転ずる、君の役目でもある。気付きを早く願います。私も神として日々影響力が強くなっています。私に怒り焦りはありません。あるのは憐れみだけです。幼児、児童虐待等、正義の憤りと涙は別にして。

神仏は罰を与えるか。神をおろそかにした、邪な心、理不尽な言動は悪魔を喜ばせ。それを天が裁くのです。人は自覚し、罰を契機に心を善に向けねばならぬ。俺は自身がエホバだと自慢したいわけではない。真実の教えである為には、保証として神は必要だった。ことさら私が神を謳うことはない。愛の極致。そこに跳ぶためには踏み台がいる。それがエホバ、(在るもの)の存在意義だ。山口くん、深く考察せよ。

イエスの愛を説かずに、永遠の命を願っても本末転倒。正しく聖書を活用でき

ないのに、人々を神の国に導こうとは。善意と良心を確認せよ。人生、すべてにつけ紆余曲折、だが予定調和だ。事件の都度、私は善を選んだか。いや神にとつての安樂、愛を選択したのだ。私を始め神の子の宿命である。自然に生きた結果です。私はヨハネの手紙の義人です。聖書の証。少し旧來の神の概念とはニュアンスが違ってくる。神は今、人間ならば生活がある。だからこそ現実的に、善意、良心だけの靈的神とは違い、四苦八苦、欲望を持つ人間の忖度も可能になる。

私は純粹だが、ある意味、安樂に生きたい。人間としての目算も共存する。だからといって、聖靈の宮も離れない。自覺せずとも神の意思が言動に表れる。昨今、振り返り確實にそう思う。神の資質だけではこの世に居場所がなくなるか。本質、世は愛によって回っているのだ。サタンの体制、利他に生きるとき、祈ればてきめんに周囲の環境は變化する。そして最早、心配無用。来る世は、愛の法則だけの世界。アクシンデント、不具合は起こりえない。私は私への信仰から確信しました。王国會館、日曜の午後は八尾の集會があるのですね。事情を知らずごめんなさい。

「エホバ（神）」として「二冊投函しました。皆にご覧いただきたく願います。神を愛し隣人を愛す。希望します。そしてあなた方の義より私の愛を選択しなければ明日はない。今回、君は私への説明責任を果たすことで、私をエホバと認め

ることになるのを恐れ、宅への訪問、取りやめに至ったのでは。寂しい。私は君達を愛したい。仕事を持ちながらの活動は大変だと思います。誘惑との格闘。真理を求め、幸せに至るため宗教はある。真実、幸せとは。

エホバこと私の話に耳を貸しなさい。携帯の呼び出し音が鳴るなら吉報だと聖書が示します。拒絶ではないからだ。多忙な中、仕事の疲れもあるのに、王国のために尽くされる。あなた方が去ったあと、いつも好き香りが立ち込めます。将来への希望。聖書に祈る、すべては円滑にゆきます。これは聖書を信じる各位の愛の自覚に、神よりもたらされる善の境界です。終末の光景は君達の見解が正解だろうか。でも私の愛、教え、外してはいけないよ。真実の信仰は、嘘で凝り固まった既成を、否決し正しさを訴える。私は神自身の愛を説く。つまり君達の原因論で私に立ち向かうとき、神は怒りではなく、憐れみでいっぱいになる。自らを絶対にしなさい。全知全能とは私だけである。利で人を選択してはいかない。利己欲に応じるものを優先する、都合の悪いものは排他する。このつけは必ず払わされる。まず人は神と同じく善良でなければ。絶対は神だけ。私の他はない。私の愛に敵うものはないからだ。本日、好かったら顔見せ程度でも。私の憐れみを受けて下さい。待っています、君を。謙虚を学び。今、幸せですか。神は愛であり、善意、良心である。君達の聖書見解、辻褃合わせの資料は頭に入らないの

だ。エホバの証人は神の肩を持ち過ぎ人間に冷たい。当然の見解か。神は寛容で優しく思いやりに満ちた方です。倦怠は感謝でいなす。これは来る世においては必然。しかし現体制では神が人なら私も向上心という化け物に飲み込まれる可能性は大いにありえた。基本的に優劣を競うのは善くない。私は仕事を辞めパソコン教室へ。向上心。私の思想と齟齬が。これは悪魔の欲望。メラメラ燃える煩惱ではないのか、あつたかい南無妙法蓮華経なのか。そして目的を追うときパウハラという横暴に遭った。教える側にしては手法なのかもしれないが、愛と平和を常に求めたい私としては耐え難くそこを辞した。やたらに走る向上心は悪夢を生む。私の思想は正しかった。山口くん、待つとるよ。お顔を拝見したく思います。神の意に逆らうのは良くないなあ。玄関先で、互いの息災を確認できれば、待っています。手を上げておれの顔を見る。ヨシト、おう、後はニッコリ。これが信仰、心からが大切。間違はなく成仏、神の国への祝福、永遠の命は確実となるのだ。親近感が信仰であり真実の愛である、確実である。愛想も布施のひとつ。

ニッコリ笑えば幸せに。笑顔の似合わない人は本質的にいないから。笑いなさい。神は神であり愛の特質を持つ。故に自動的に人々の支持を得る。けして媚びたり遠慮したりせず毅然と生きるだけ。人は神の意を汲むとき幸せになるのだ。山口くん、もうすぐだ。皆の涙は去る。私が神であることがネットで作為的に

無視されている。逆にその反応から、広がりを確認する。神イエスは復活し昇天した。ヨシトの存在は、霊者ではなくイエスと同じく人間だ。人としての幸福を追求する。勇氣、想像力、サムマネー。俺は神であり人間である。つまり、イエスも日蓮も人間。人として自由を望む、愛を以て平和を願う。利他の為、金が欲しい。勿論、俺は人間だ。行動の阻害という悪も否定するためにも。肉欲は、妊娠、病氣、悪感情が生ずることから騒動になる。問題の根源が失せたとき、享樂は報われる。肉欲は、罪を生む要件が消え、博愛となる。イエスは横暴で暴力が好きだったのではない。神イエスは絶対善である。愛を強制する立場。偽善者が意志を遮断するのは許されない。アガペーは万物に向けられる。では選択を迫られたとき、一人に向ける愛とは。偽善（嘘）からの解放をなし、神の義を与えるものであれば、主観的なアガペー（博愛）は成り立つ。神は100匹の羊のうち一匹でも迷えば探しに行く、後を残して、それが公平な神の愛である。

一人は皆のために、皆は一人のために。神の義とは思いやりと言え。モーゼがエジプト人を殴り、次は自分たちになると民は曲解した。私は金が欲しい。利他のため聖書も認可している。神を曲解する人、結局、富が欲しいのかと私を疑う。神は自分のために金を必要としているのではない。すべて利他のため。世の為、人の為である。神の自殺。善意と良心の塊、神は世間で生きていけないか。

法華經方便品第二のなか十如是の教え。十界互具、一念三千。仏も神も悪心を持っている。でも使うことはできず、使いたくとも思わない。今、神は人間なり。

インフルに罹った。念仏批判。神を忘れた間隙、阿弥陀は空虚だが悪鬼が忍び込むのだ。気をつけよ。何度も言う。この世は愛で回っている。法則に従い、本日お待ち申し上げます。なぜイエスとマリアは仲が悪いか。エホバに母親の概念はないからである。私は母親の声を聴くことすら嫌悪を感じる時がある。母は感情的だが、馬鹿正直で、献身的だ。責任感も強い。もつと人に依頼してもと。

墮落すると思い、何事も自ら為そうとする。俺は見守るつもりだ。恩があるのは確かだ。だがその勝手さは尋常ではない。つられて怒りを持つてしまう。年齢ではなく性格であろう。粘着質、ソチがさらされる。母は眠りを妨げるソチに暴言を吐く。だが彼女に情けないわけではない。私は空腹で苦しんだことがない。

潔癖で強情、誠意の塊、母のおかげだ。親子喧嘩の解決は母が私を神と認め、私が彼女を母親として立てること。彼女は私が神の思想を語ると、自らの正当化ばかりを口にする。何かしら勘違いし。責めを受けていると感じ、どう処理していいか分らぬみたいだ。むくちゃんがいた。精神科開放病棟の窓から飛び降り死んだ。この世界をつくった神の罪の償い、贖罪のために、神に代わって死んでくれたのだ。この混乱した世界を創った責任に自殺を考えた神である私は、今も

涙を禁じ得ない。彼女は本当のエホバの証人であつた。聖書を持ち歩き、拝むと禁じられていたスカートをまくつた。「ズボンをはきなよ」「あなたが買つてはかせて下さる」。

山口くん、「エホバ（神）として2」を書き始めています。前回よりさらに充実した内容だと自負しています。バージョンアップしたエホバを堪能して下さるようお願いします。親鸞は、「死ねば極樂へ、阿弥陀にランダムに救われすべて仏になる。葬儀は無用、死体は賀茂川の魚のえさにせよ」。念仏を説いた。親鸞は極樂さえも「法然に騙されているかもしれない」、ある意味信賴していない。そして惡の肯定、無神論。在るのか無いのか判らぬ極樂浄土への賭け。阿弥陀如来の救済、遠く西方浄土の仏様である。釈尊が亡くなり遺骨を八万に分けストウパー（塔）を建てた。その守役から後の大乘と呼ばれる教えが説かれる。出家とは趣が違い、在家から生まれたものだ。釈尊の遺骨に愛着を持つことは温かい感情を持つことに繋がります。執着とは違う、大乘の精神、慈悲です。多くの人が望むのは、現実に釈尊が生まれた、この娑婆で幸せになりたい。仏の意義はそこにある。

僧侶が確信持てぬものを安易に奨めてはいけけない。みんなて救われる大乘の精神からも大きく外れて行く。目に見えない神仏の法則からは放れてはいけけない。それは一閻浮提（全宇宙）に遍満する、久遠実成の釈迦如来に帰依すること。

仏種に仏陀の覺りを貼り付ける仏法、日蓮の南無妙法蓮華經に愛はある。日蓮は信徒に、「親に頂いた大切な体。報恩。感謝を忘れず、先祖供養を」と勧める。

（携帯用の法華經を忘れた富木常忍。日蓮は弟子に母親の成仏の知らせも託し後を追わせます。受けた常忍は大事な体を授け育んでくれた父母に感謝し、しばし涙にむせびます。辛い生業を知る大工のイエスと同様、庶民出身の日蓮だからこそこの逸話だと思います）。釈尊は生まれたばかりの赤子を含め、父、養母、妻、一族郎党すべてを捨てて出家した。その心持、私は一匹の猫さえも捨てられない。儒学者は彼を責めるが、真実を知らない。自由、愛、平和を求めた釈尊の志を。先述したように念仏は極楽が存在するか、また往けるか往けないか判らない賭けの世界である。親鸞は「我は地獄に行くしかない身、法然に騙されても念仏、阿弥陀如来を信じるしかない」と言う。彼岸に対し此岸（この世）の功德、現証は誰一人として念仏にはない。だから此岸、いろいろ考えるなどと言う。宗教への無感動、無関心。真実から目をそらせる悪魔の魂胆がある。「毒消しがあるから」といつて毒を飲んではいけない」「わけが解からない。毒消しがあるのなら、旨く、氣持の好い毒なら誰もが飲みたいだろう。おかしい話だ。念仏は悪を肯定する。盗んでも、殺しても、犯しても死に際に南無阿弥陀仏、いっぺん称えれば成仏できる。「いや、もはや阿弥陀の方から救ってくれるのだからいっぺんの南無阿

弥陀仏さえいらぬ」。絶対他力、親鸞の言葉である。「まして善人と呼ばれる者たちは色んな計らいを持ち、善行というものを人間の価値観に基づいて行なう。が、悪人は自然に生き、虚栄心がない。仏の目で見れば悪人の方が己に従順で救われる。」これに反論する。真の善人とは突き詰めれば、善を求め続け、幾多の涙と情けを経験し、神からもたらされた資格、聖霊の宮として在る者。その言動は神の意志である。悪人は悪魔の子。やはり救われない。南無妙法蓮華経と縁がないからである。山口くん、またの来訪楽しみにしています。自律、自制、神のモットーです。楽しみにしています。連絡を下さい。祈ります。未来の幸福のため。私を悪魔だと思っていないかい。光の天使に化けたサタンの手下になる工程で私を拒絶していることに、早く気付くのだ。良心を深くするのだ、神の心の域まで。私の意味が見える。念仏は己だけが助かればよい。真言密教は各自勝手に秘儀によって救われればいい。南無妙法蓮華経は皆ですべてに救われよう。

どこに愛があるか、一目瞭然である。私が君を負の要因で充たすとコンタクトを取らないのか。私を悪魔だと拒絶するか。いずれにせよ無視からは何も生まれない。悪意、私の排除、それが目的なのか。何と愚かな。使徒行伝、「神があなたを選び義人の声を聴かせた。あなたがそのことの証人になるためである」。己の使命を忘れないで下さい。盲人の自覚を促し、パウロのように福音をもたらし

人々を救わねばならない。来る世、妊娠がない。つまり性欲は言葉としてなくなる。繰り返す、肉欲が善くないのは、嫌悪感または嫉妬などの悪感情が付きまとったからだ。歓びを享受するため、明るく素直に温かく、神の選民とは、楽しく美しく享樂を生きるもの。私はやはり皮膚感からもたらされる快樂は捨てきれない。いつ愛に基づき夢はかなうのだろう。この道徳的な世界で享樂は惡とされる懸念が否めない。道徳は果たして善なのか。釈尊出家の要因のひとつ、醜い饗宴とは。その釈尊の忌避する感覺は私を捉えて離さない。しかし抱擁への志向はますます盛んになる。矛盾している。すべての人の心の中にも神とサタンが混ざり合い併存している。欲望と平安、快樂と嫌惡。仏陀の智慧と慈悲があれば解決される。来る世、執着を絶ち博愛を抱き、裏切りなどと憔悴せず、パートナーの思いやりの交流を是とする。簡単なことだ。焼きもちを焼くな。

各地に美しき抱擁が暖かく生まれる。不老不死の実現。来る世、幸せの快感とはオルガスムスを超え、もっと凄いものが。信仰、帰依する。その前に、イエスも釈尊（仏陀）も「私を見ずに信じる者は幸いである、神の摂理、仏陀の法を知る」。大切なのは、絶対的な個人崇拜ではなく、真実の教えへの心の在り方である。個人崇拜は命の平等性も損なうことになる。偶像崇拜が許されないわけは、自己放棄し意味も解らぬものにひたすら頭をたれ拜む（石、狐、鏡、天狗等）、

願望成就のため。釈尊が禁じた他に依拠するものだ。温かい人間になり、聖霊の宮になる、神仏からの最終目的は達成されない。聖霊の宮とは仏を意味している。

（ケイゾウ、どこで聴いている。マユカにもうすぐ赤ちゃんが出来るぞ。男の子だそう。三人娘の次女だった身、えらく喜んでいただぞ。初孫だな。死んで12年になるか。早くに死んだ俺の親父と同じくアルコール依存になっちまって。だれど薬依存の障害者の俺にも解かってきた、親父とお前の気持ち。この世のありように悩んでいたのだな。お前の若くして死んだお母さん、「特別、歌がうまくなくても笑顔があればいい」お前、子供のころ歌い手になろうと思っていたな。

「上を向いて歩こう」みんなその音痴を冷やかしていたけど、20年後、商盛会のカラオケでは泣く奴も現れたな。気のいいお前を、さんざん侮辱したけど、お前に嫁さんを世話した、俺が一番の親友だったのだよ。俺の親父と天国でうまい酒を飲んでくれ。最近死んだばかりの町会議員だった、お前の親父さんはそこにいるか心配だ。本当にお前がうたうのは「上を向いて歩こう」だけだった。十八番。俺は「泣きながら歩く、独りぼっちの夜」我が儘なおふくろに手を焼いている。いずれにせよ、どんな形か解らぬが、また再会できる。サタンの体制は終わりを告げる。神の国、幸せな楽園で、みんなで暮らすのだ。もう変な上昇志向はいらない。優越感も、劣等感も。それでいいのさ。お前が背を向けた信仰。解

かるときは来たか。永遠の命をどう使う、かつて消防団で現場に人先、駆けつけた、お前。喜んでくれ。神の国ではもう災難はない。愛ですべてが保護され、回るのだ。これで万事オーケーだ。もう少しだ、ケイゾウ。もうすぐだ。」

山口くん。

ローマ人への手紙第2章第4節神の慈愛があなたを悔い改めに導くことも知らないで、その慈愛と忍耐と寛容との富を軽んじるのか。5節あなたのかたくなな、悔い改めのない心のゆえに、あなたは神の正しい裁きの現れる怒りの日のために、神の怒りを、自分の身に積んでいるのである。6節神は、おのおのに、そのわざに従って報いられる。7節すなわち一方では、耐え忍んで善を行なつて、光栄とほまれと朽ちぬものを求める人に、永遠の命が与えられ、8節他方では、党派心を抱き、真理に従わないで不義に従う人に、怒りと激しい憤りが加えられる。(天罰必中ですな)。

(考察)

神は恣意的な私怨でアダムとイヴに罰を与えたのか。裏切つて知恵の実を食べ、善悪を判断する。罰はもちろんだが、自由意思を持った人間には、神から放れた生活を体験させることが必要だった。案の定、神にとって代わろうとするサタ

ンを戴いた人間たちは、歴史の中、散々酷い目に遭っている。それでも人々は、神に背を向けて拝金、物質至上主義に走る。利他、愛に、気づき、目覚めたとき、幸せはおのずから訪れる。やはり人は真面目に生きないと。周りを大切に、感謝を忘れない。差し伸べられる手を払わず優しく握り返す。たぐり寄せたりなどせず。人は助け合いだ。そのことに気づくとき神仏は微笑む。人が人を助けるのは神に対する義務である。じつは自然権、基本権、人權は哲学者が持ち出す前には強く人間に賦与している。天の父の愛を訴えたイエスは、人間に生まれ、贖罪した後、復活し祝福を証したのである。幸せになる為には私はなんでもありの自由民主主義の罠に陥らずに心に神（愛）を抱き思いやりを持つて生きることの人々に勧め、求めるのです。王権神授説、これを妥当だとするからこそ、専制と敵対せず人權も神より授かったと、同様に言えるのだ。自然権。神も、イエスも、日蓮も聖なるものとして一体化し、一閻浮提に遍満し流れている。私がアガペーの広報を誰かに委託する、差配は天の法、神の摂理からもたらされる。お互いが厳格にて裏切りを防ぐ、つまり人を疑り、監視機関を作りけん制しあう。これは辛いです。何事も隠ぺいする体質が生まれ、告げ口が生まれ、疑心暗鬼の温床になる。そこからサバイバル、王家から出家した釈尊の気持ち俄然、理解される。出家とは元来、厭世的意識がなければいけない。生き残りゲームを楽しむス

ポーツ観戦。それは悪魔の世界そのものである。サタンの背後に光明を放って、神は愛を持って生きよと、人々の心が誠実な理性で良心に向くのを、首を長くして待っている。だから皆、とにかく愛を忘れずにいてくれ。それだけだ。南無妙法蓮華経。

山口くん。

メンタリティーはどうですか。使徒行伝第11章17節「私のようなものがどうして神を妨げるようなことができようか」。イエスは天にあげられた。訪問、待っています。

（お世話になった近所の女性）

理屈ではなく宗派を超え素直に家族、特に息子の無事を、仏を信じ祈る。世話人。布施を大事に。臨終の相は美しかった。信心に生きた人。享年九十八。南無妙法蓮華経。

（考察）

結局、どこでも素直に神仏を求めるものは、節操なきと呼ばれるより、その正直さに神仏は微笑む。純真な心が幸せを。目に見えぬ、幻でリアルな世界を信じるかどうかである。先程からも言っているが、善意と良心だけの神は生きられない世間。サタンの支配体制。負けるな、同志諸君。夜明けはもうすぐだ。尾崎は

体制には非常に危険な人物だった。サタンの支配体制、権威主義に対し自由、愛を訴えた人物たちは排斥されたが、死をもつて栄光となった。魂は受け継がれていく。イエス、日蓮、尾崎豊、は代表者。幾多の天に記された無名の愛の戦士。優しくて雄々しい勇者たち。俺は彼らの夢をかなえる。

山口くん。

かつて君に永遠の命を約束したね。いまだ君は二心を抱き会衆という被害者に対し偽物を宣教している。時期を迎えた。嘘、二枚舌は使えない。神の子と臆病者のどちらを選ぶ。ヨハネによる福音書第19章20節から28節迄が何度開いても現れます。ランダムに30回。最終の記述は「聖書が全うされるため」。終末なのか。何かが確実に起こる。枝を断つなよ。ひさしぶりエホバの証人、西村さん。あなたが言った、「来る世にも倦怠はある」。かつて私は感謝でいなすと裁いた。

だが来る世、道徳はいらないと気付いた。アダムとイヴが樂園にあったころ、殺人をはじめ盗み、偽証、利己的願望、性に関する悪感情、隣人との諍いは概念すらも存在しなかった。当然、神を疑うことも。しかし事件は起こり、神が戒律を設けなければ人間界において悪意から悪徳がはびこり收拾がつかなくなつた

のだ。来る世、樂園には道徳も倫理もいらぬ。すべてが神の意志。聖霊の宮、神の御使いになるからである。楽しく暮らすだけである。

雄さん。

日蓮は神だ。仏でもある。今回の本で念仏をいつもの様に正直に批判した。

南無妙法蓮華經を唱える神の子たちはひとつになる。大石寺、功德の根源、本門戒壇の本尊、奉安堂の耐震性。崩れる因縁ならば、究極の当体ではない。心に開く永遠の本尊が本物。戒壇は我が身。私のサイト「エホバ（神）」として「開いてください。貫井に言った。「お前の成した大事、俺を大石寺に連れましましたことだ」。雄さんの使命は俺に南無妙法蓮華經との因縁を確認させ、また鼓舞することにあつた。ご苦労様です。二人とも仏国土、神の国建設のため尽力期待します。不老不死、永遠の命は絵空事ではない。私は王国の主です。信仰つまり親近感が決めて。私は愛しき美女を抱擁すること、それだけが夢。かつて（ニッポン人への手紙）のなかで神とサタンはこの世で出来レースを演じていると記した。本当か、聖書に尋ねるしかない。「そうではない。が、そう見えるかもしれない。」どんなものでも善玉、悪役、はある。悪魔が残虐であればあるほど神の優しさ、慈悲深さが際立つのである。神がけして望んだものではない。サタンはこの道理

を理解しているのか。大義名分を持たせた戦争を代表とした悪を善に見せかける。そして親しき人の私への裏切りから私が傷つくと言っている。人間には自由意志がある。サタンは欲望という名の光の天使を装い、神から離反した人間たちを陥落させようと躍起になる。そのような非道が長く続いた。神は結審する。嘘と人々の疑心暗鬼にまみれたサタンの世は終わりにしなければならない。

看板だった（義人の教え）、かつてある人から「おこがましくないか」といわれ「神が人間に遠慮するのはおかしい。また偉い偉くないとか、上下の価値判断は神の世界では無意味であり、それにつながる悪感情も存在しない」と答えた。ただ間違っているのではないのだが、神は自らの勝手に甘んじた感になり、本当に人間を救いたいのならまずその意識の位置まで辿って行かなければと認識した。新たな気づきがあった。私は方法論ではなく（義人の想い）純粋な神の気持ちつまり愛を訴えるなら、上から視線は誰も受け付けないことを留意し覚知しなければならなかった。認められないのは私の徳のなさからだ。「主体性に関与されるのは気分が悪い」、それが誰しもの自然な気持ちだ。私が偉そうに見えてはいけない。私の愛の想い、込められた念が、岩石に窪みをつける水滴のように、皆の心に浸透して行くのを期待したい。愛は、教えより想い、それが適切である。神が偉い、そんな意識より、愛という理想を、私の言動から人々が洗脳ではなく主体的

に捉えてくれると信じている。私に愛と義が存在するからである。そしてそんな私が唯一、聖なる尊きものである。理解してほしい。

千華。

「千華の愛が本物なら、おじちゃんはイエスのように水をぶどう酒に変えてやる」。そして注がれたワインはとてもおいしかった。つまりそれは千華の愛の美しさの証だった。聖書の婚礼の譬えは千華の愛をあらわすエビデンスでもある。千華へ、「この祝儀は年金ではなくおじちゃんが時給820円から貯めたものだ。惜しくはない。ただいつも人の想いの分かる女性でいて下さい。蛇足のようにだが祝辞です」。「前にゆるい礼儀が必要だと言ったね。もたらされたものは君たちの幸福を祈ってなされたものばかりだ。ひとつひとつ大事にして感謝の意思を示しなさい。それが大人の女性、また母親だよ」。「夜遅くごめん。おやじのことを考えていた。きちがい水。酒乱、常習、依存につながる。おやじは酒を売って生きている自分を責め、自ら依存症の道を選ぶ。優しい父に悲しい自己犠牲が光る」。

「おじちゃんがかつて重んじた義、友情について迷う。割り勘はやめよ。線引きされたような気がする。心で生きよ。（真由子先生に捧ぐ）父と子の想い、人生の悲哀、サイトご覧ください」。「千華、祝いをあげたからって君たちの負担と

見返りなどは期待していない。ただ出逢うものに心から親切にしてあげてください。それでいい。仲良く、からだ大切に」。

山口くん。

神が僕（しもべ）を送ったのは、人々を悪から立ち返らせ信仰に導くためであった。イエスは死人の中から、ラザロをよみがえらせる。さすがにこの奇跡は凄いい。瞠目する。ヨハネによる福音書12章39節多くは奇跡を見ても神を信じられなかった。神は目隠しをしている。君はパリサイ人をはばかって正しい声を出せない。会館、会衆から追放される恐怖に。君たちは会則を幼き頃より順守し立派なクリスチャンになるよう教育された。でもイエスは感受性豊かなナイスガイ。彼を知る都度そう思う。私にはそれが分かる。同情をふまえた愛が是。冷たい分析に基づいた作為、説教を、人々に千里浜の砂の数ほどするより、情けに溢れてこぼれる涙。イエスは神として君を真実、祝福するだろう。これ見よがしは嫌だが、私の予言は当たった。震災、空襲20万人が亡くなった地、東京。地獄、餓鬼、畜生、修羅の四悪道に落ちた者たちが繰り広げる悪の祭典オリンピックピック。台風19号は、善神が彼方に去ったことの証左である。南無妙法蓮華経。元気ですか。人々の原罪の意識には温度差がある。優しい人ほど苦しむ。律法よりイエ

スの説く神の愛が大切なのだ。信仰には善良さが力を持つ。ローマ人への手紙3章26節、神は自ら義となり。つまり神はイエス。さらに彼を信じるものを義とされる。そして義を示すため、神、イエス、聖霊、三位一体、これはどう転んでも外れないのである。今日は訪問ありがとう。神はいつも一番弱い立場の人の思いを察し、愛を注ぎたく、気にかけている。例えばホームレスの人たち、傷つき自らの存在さえ否定している。幼児、児童虐待。神、イエスは、号泣する。涙の一粒もこぼさない、エホバの証人は真実エホバを愛してはいない。一番必要な心のぬくもりが欠如し、温かい人間とは呼ばれないのである。君の毒舌、巧言には、憐れみとともに、組織に対しての妄信しか感じない。悪感情からの揚げ足取りは心に余裕のない君の証左である。だが訪問、本当にうれしい。イエスに乾杯。

（聖書に基づき台風が上陸する一週間前にR会に向けて私が発した予言です）。
「台風19号は甚大な被害をもたらすと聖書に出ている。だが富山は免れる。俺がいるから。不遜ではなく辛いが私の神の証明としてなされる。この心持、判るものは楽園へ」

（結果）。

38 都道府県の被害は一千億円以上。のち、千葉などへの豪雨。無事であるな

ら、ただ神に感謝する。素直に暖かく同情を忘れずに。人はみな罪びと。神の愛は公平です。

北海道地震、東日本大震災、広島、大阪、西日本豪雨、台風千葉、長野、熊本地震、四国は天災が頻繁。北陸、しかも富山だけが安全地帯。その中、一部の私の存在をおろそかにするもの達、天罰必中である。

山口くん。

昨日は来てくれてありがとう。君たちの教義、死は、クリスチャンとして務めを成し遂げた果てのもの、哀悼の意よりも、歓喜を生み出すという。亡くなった杉田さんも、いずれコピーとして復活するわけだ。だが何か寂しいなあ。エホバ神が宇宙を創った。疑いなき正解である。私が最初の声を発したのである。大坂城を職人が作ったとはだれも言わない。科学は大工が使った材木だけを観ている。いつも夜分、メールを送信し、悪い。俺は君らが好きだ。信念と根性がある。ただ負けず嫌いを克服し、信念を深く考察、更地からの懷疑、構築を持っていま

す。私は学ぶことが必要でなくなった。仏教では無学という。私は神の意思を抱き行使する聖霊の宮です。時と場合により適切な発信をする。善意で従いなさい。

山口くん、夜明けは近い。王国会館へ私の足も向くだろう。死を乗り越えるには楽園での快樂享受の資格を得ることに尽きるかもしれない。そして頭やわらかく。人の想いの分かる人になれ。自分よりまず人様。君は自己犠牲という。しかし相手を愛する関与は犠牲であろうか。つまり布施、天の父は記すのだ、思いやりからの捨て身を。それは栄光に満ちている。先日、君が神の、つまりエホバの意を汲むことの大切さを語った。私の錯覚ではないね。私をエホバと信じたか。

正論に対し皮肉、侮辱で返す間は、距離が必要だと思う。そしてこの小さなつぼみを大事にしたい。反響が大きい奇跡は災いをつくる。病気を癒し死人を蘇生させれば、人々は殺到して収拾つかなくなる。関係者にも問題が生じ、医療、福祉システム自体がおかしくなり、政治、経済にも影響を与え、社会保障、国家は破綻する可能性がでてくる。もし神の国ができ永遠の命が生まれるとしたらすべて同時でなければいけない。良民へのひずみ、しわ寄せはなるべく避けたいのが神の心である。神の義を追求すれば大量虐殺に至る。避けるにはすべてにおいて浄化され人々には人情という正義、想い、愛を選択することを願う。

皆、そして誠を大切に。隣の列の顔色ばかりうかがって歩幅、歩調を合わせる。「お前に意志はないのか」。けれどもつまらない我（エゴ）にこだわらぬ方が生きるのは楽だ。さあ君はどうだい。予言、奇跡を待つ、そんなことより己の魂

の善なる変革を望み期待する。これが神を敵に回さない一番の心得である。欲望よりも人を思いやる清らかな愛が尊ばれる。神の善意、良心だけでは、人間社会、生きていけない。神ヨシトは人間宣言をする。金儲け、処世。人々は善意と、悪意とに受けが二つに割れる。人間性が判別される。使徒行伝10章コルネリオがペテロの前にひれ伏す。ペテロは言う「私も同じ人間です」何度も繰り返しその場面が開かれる。コルネリオの祈りはかなう。その施しによって。布施が大切なだね。山口くん、君にテレしたいが聖書が許さない。どうやら君たちは私を狂った厄介な人間としか考えていないようだ。少し寂しくもあるが君達の信心は期待しない。異端児とはそういうものだから。イエスキリストの証左である。

「命が一番大切」。その価値観から外れてはいけない。「宗教は別次元への洗脳」という科学者がいる。神としても「命が一番大切」、正論である。ただ命Ⅱ愛でなければ。愛は自尊心つまりプライド。命を大切にする。暖かい心を持つ人になることです。明るく素直に。互いに宿る、命Ⅱ愛に目覚めるとき、寛容な守るべき良心が見えてくる。高慢ではないです。そして自ら命を絶ってはいけません。

神からの、あたわりを、終えるまで。繰り返し返し聖書に表れた、ペテロの「私も人間です」。命Ⅱ愛だとしたら。愛は死なぬ、イコール生命、永遠の命は俄然、真実味を帯びる。法律は私たちの暮らしを守り保護するもの。信じたい。しかし

ハンセン病患者への悪法など。時節が変われば視点、論点も変化する。法、規則より、まず義、愛が優先されねば。私が人間宣言をする。と同時に来る世が現出する。台風後、被災の状況はかなり酷い。富山では想像できない徴です。もう間近に迫っています。愛と平和の世が。ペテロは「同じ人間です」とひざまずくコルネリオに起立を促す。「神も今は人間であり、自然体で関われ」と聖書は強く伝えてくる。皆、暖かな心で罪びとから善き人へ。私は聖霊の宮からいったん離れる。聖書の指導である。刊行という欲望の域に向かったからだ。これは我欲を張る世界。神はいったん消える。「醜くとも、好きにやれ」と。聖書が来年4月に入る時点で、なにかが始まると宣言した。義人を嘲る人が一番の悪人だ。現在、極悪非道であつてもイエスを信じる。愛に目覚めるとき救われるから。使徒行伝26章彼らの目を開き、闇から光へ、悪魔の支配から神のもとへ、罪の許しを得、信仰による聖別に加わるため。いま、パウロの気持ちです。私は正気です。

君たちが描く将来の未来予想図が知りたい。沿革が知りたい。ダイジェスト版で。未来志向からの聖書研究会を再開しましょう。返信待っています。夜、ごめん。宇宙の法則、来る世、すべからく愛は滞りなく我ら世界、隅々まで流布される。もうアクシデントはない。イエスを信じる者は皆、罪を許されるのである。恨みがあると人を裁きたくなる。その心が地獄を生む。この後、樂園を乱さな

い限り人は生きる。サタンは放り出され。後、微量の悪魔の子は処断される。聖書は宣言した。預言者義人の言うことを聞け。4月の当初から何かが起こる。どこも切羽詰まった感がある。愛と平和の世界が現出される。信じよ。商売繁盛を仏教にて祈る。仏陀の教えと矛盾しているのではないか。ここは欲望を鼓舞し生存競争を煽るのではなく、布施し合い人々の本当に大切なものを見出し、便利、快適なものを生み出し、皆で真実、豊かになる意味がある。それは平和から心が離れないことにつきる、南無妙法蓮華經。私は神の意志を持つ聖霊の宮から、父より遣わされた預言者となった。

人々をイエスの名において赦し、また悪の暗闇から善の光の中に立ち戻すため。教皇フランシスコ、核廃絶、多国間主義の衰退への懸念。この理想主義は何だ。政治的局面にありながらも非現実的なフレーズに終始する。神に代わっての責任は果たせていない。神は匠みたい頂点にいるものではない。原罪に気づき、サタンと闘い打ちひしがれ酔いつぶれた男を半べそをかいて、見詰めている。私の志向、先祖からの因縁である。念仏を徹底批判し、特に親鸞の思想を強く非難する。私の敵は間違はなく念仏である。そして私は日蓮である。やりたい女は抱いてやれ。腹をすかした、食べさせろ。熱い、寒い、しのいでやり、許された欲望を満たしてやる。これが大乘、神仏の道、樂園につながる。人間すべてに忘却が

必要です。

例えば幼き頃の母親への恩、忘却がなければとてもイエスの言う、母親を捨てろ。できないです。福音を消して回るのは悪魔。その判別が大事。生老病死がある限り、皆一人だと気付かねばならない。酒臭い息で、ときに酔いつぶれていた親父の子守歌。悲しいサタンの支配の中で。生きたことは愛することだと唄っていた。ある男、「来る者は拒まず、去る者は追わず」、援助交際の女子学生までも含み、唯物的な臭いがする。もし彼女らが身内ならばどうだろう。結局、縁として一理あるのかも、勿論、すべてに心が大切である。欲望の強弱は年齢から志向と共に変化する。諸行無常、諸法無我、男女に限らず、すべては縁である。そして隣人に神の子として、愛を向けるとき、真実の義が見える、アガペー（博愛、慈愛、神の愛）である。エホバの証人の君は誘惑に落ちない、落ちたことがない。鍛えられた筋金入りか。イエスは病人を癒すために来た。人は弱い。誰よりも強い神は言う。私への信仰だけが罪びとを救う。何度も答えた。規則に従わせ、罰を設けるのは、組織の運営のためだ。たとえ殺人でも情状酌量の余地のある、同情を禁じ得ない悲しい事案もある。神は憐れみを持ち誰も責めない。君たちは仕事を抱え、休日は丸々つぶれる。その不満は自己犠牲と言いたくなるね。私との温度差を感じます。私は宗教が大好き。哲学は無機質である。温かい信仰

を。

1日、王国会館に参上したく思う。聖霊がストップをかけたら問題なく屋外に出られるようご配慮願います。監禁ってことはないね。私が宮のイエスみたいに暴れることはないと思います。懐かしいお顔を拝見したい。杉田さんはいないのか。

イエスはラザロの死に涙する。杉田さんは気さくな善き人だった。葬儀参列の気分だ。山口くん面倒かける。俺は結局エホバの証人を本当にエホバの意を汲む、本物のクリスチャンに替えたい。いま世界で一番安全で災難から外れた、神の居住地から始めたい。私の説法は胸を打つ。日蓮門下の分派、党派心からセクト（宗派）争いへと。イエスが言う。「キリストの話をしているならそのままに」。

これと同じく日蓮は様々な場面、事情に処するため、南無妙法蓮華經の分派を未来に向けて許諾したと言える。イエスの血肉を食らう。イエスの言動から神聖を吟味する。結局、神の矜持は利他に向かい、どれだけ病人を完治させ、善き人へと救ったかで判断される。未来に向けて私が神である。神は人の為にある。

そして神の意を汲むことが自らのためと人は知るべきだ。また宣言する、「人間は神のためにある」。神とは絶対的なもの、怒った、笑った、泣いた、酔いつぶれた、神じゃないのでは。神じゃないなら神ではない。だが何があるうと神は

神なのだ。神は絶対です。神に尽くすることが幸福へ。何より温かい心が大切である。妬みなど敵意を私に持つものには親近感を深める。ときには強権も必要。

愛に向けてまっしぐら。神は利他。花を咲かせよ。山口くんお疲れ様。仕事、抱え大変だね。君たちの教義に関しては若干の修正が必要。でも今、方便と捉えている。1日楽しみにしている。またよろしくサポートお願いします。大会がある。会館に行っても誰もいない。ありがとう知らせてくれて。神エホバを、けして敵に回さぬよう。無謀だから。過去からの悲劇と片付けられない出来事の数々。神の責任が問われる。神は自ら認めるだろう。悪魔、人間は自由意志を持ち、彼らにも責任は帰結する。潔く、自ら認めないが。何をして神は神。これをヘンと言う。なんと念仏信者。どんな悪業を犯しても成仏するというのが真宗の教義である。実は類似。だが一つ重大な違いが、神か、人か、神は絶対善である。悪はない。神はあえて後のイエスの正当性を強調、際立たせるために、旧約の中、ノア、ソドム、ヨブ、アブラハムらに残酷な意志を示した。博愛を鮮やかに現出させるため。神は悪の心は使わない。使えないのだ。だからこそ神である。私の誕生日の翌日15日縁起もよく、会館訪問、如何なものでしょうか。聖書にも吉と出ています。最近良き縁が続きます。サポートのほどお願いできますか。君は今日のイベントで疲れているのだね。随意で結構。返信待っています。ゆ

つくりお休みなさい。聖書が示し続ける。この体制は3月後半崩れ始め4月上旬より何かが始まる。私は台風19号の被害の甚大さを予言した。並行してこの地の安堵を。すべて予定調和である。ある意味での終末が来る。不老不死、永遠の命が賦与される。君たちが言うように愛によってアクシデントの因縁も消える。

各々の仕事は志向によって再分配される。誰も貧困には陥らない。とにかく愛ですべてが回る。神が保証する。私は福音を知らせたいのだ。嘲笑する前に己の心を見つめよう。神は決して悪意を持たない。15日、魔が入らず不測の事態がなければ会館に参上したく思います。エホバの証人の善良さが試されます。素直で正直な姿を願います。妬み憎しみなし。歓迎してくださいますか。王国会館を不吉な風が漂う。君達は本当に神を愛し、隣人を愛することを学んだのか。

私のどこに罪がある。偽善者は君たちだ。なぜ真理から逃げ出すのだ。私は私の主義、主張に生きる。君たちは組織の犬として自由も得られず偽りの人生を送る。私は楽しむ今日という吉日。バイアス（偏り）は不幸をもたらす。雪の降らないクリスマス、本当に4月何かが訪れる。信じてくれない者に対し、布教に回る君たちと同様のはがゆさがある。同情できるだろう。信じない者はことごとく滅される。オリンピック、この蛮行が、今この地にて。餓鬼、修羅、畜生、地獄のふきだまりを、神が許すはずがない。善神も去りサタンに人心もゆがみ、良心

までも消されるのです。使徒行伝、3章22節。26節預言者イエスは私です。

世界へ、エホバの証人の会衆が、その気になれば発信できるはず。まずこの地から。おい山口、聞いているか。イエスはゲッセマネで血の汗を流し父の杯を受けた。市中、偽善者をつるし上げて、俺がやらなければ。彼は33で磔に。俺と同じく正規だ。ヨハネ福音書12章38、39節「誰も信じない」。聖書が示す。

君達の今の態様だ。聖書を真実、活用する私を見て、いい加減目を覚ませ。

君らに気を使ひすぎた。道理が通らない。山口いくつものメール送って悪かった。明日目覚めてから推参するか決める。君たちを救えるかは、素直さにかかっている。私には持論展開の他、特に儀はない。私を信じてほしい。君達には情熱があるのだろう。それが偽善に傾くことを憂いでいる。蟬という体罰の肯定。闘い、暴力を忌避する教義。大きな矛盾だ。神の愛はまず優しい。当日目が覚めると9時前だった。縁がない。君たちは落胆しなければ。君たちが忌避するクリスマスが来る。ファンタジーが恋するもの達に。イヴはいつも聖霊が働くよ。俺は俺の良心と感覚しか信じない。他に依存することを釈尊は禁じている。君達がどう批判しようと私はエホバである。神は神であるから。強いと自分を誇示するな。弱さのうちから同情が。シリアで1万人の子供達が殺された。冷酷さと強さの区別間違うな。神は愛そのものの、強く暖かい。戦意高揚から自爆。毅然とした

磔、殉教。美しいか。残された弱者。頭を吹き飛ばされた少女。飢え、餓死した戦災孤児たち。サタンがいる。正義とは、勝利とは。

世間、肯定し成功を求める人。懷疑的なペシミスト（厭世主義者）共に布施、利他へ。煩惱を収め真の幸せへと、それは愛だと気付く、その後、愛が心に余裕をもたらすことを知る。俺はつくづく思うなあ。どうして世界が平和にならないのか。疑心暗鬼、被害妄想、私は愛で世界征服したい。ただ楽しい、そんな世界が生まれればいい。来る世、愛で回るのは実感している。ただ労働の質と量、お金の決済、俗的肩書、などいろいろ教わりたい。未来展望から融和に向けて。聖書研究会、復活させましょう。来る世の具体的な実施様態が知りたい。集会にも参加したく融和に向けて手をこまねいてはと。念仏、死ねば、皆、仏。密教、日蓮系、即身成仏。娑婆には弥勒まで仏はいない。真実は。数学的実証主義な観念より離れ、すべて成仏へ向かう、南無妙法蓮華経が唯一。

貫井。

君も私同様、金への執着が取れたと。その証明に食事に行こうか。寿司か、肉、どうか。そうか行くか。嬉しい、実はなんでもいい。俺に布施するといいこと

がある。今日は密教真言宗の名刹を訪ねる。まじない坊主相手にひと暴れしてやる。釈尊はまじないでは湖に沈められた岩は浮かばないと言われた。こけおどしの儀式で報われることなどない。南無妙法蓮華經により、仏の作用にて仏性を淨化する仏法にしか悟り、救いはないのだ。かつて台密の筋、日蓮宗の坊主に縁切りを伝えると、私に呪いを。交通事故死の因縁。その坊主は血を吐き入院した。人を呪えば、穴二つ、バチは必ず当たる。私にとっての仏を信じるとは。自分と日蓮とイエスだけを信じることだ。つまり釈尊の意を受けた聖書の神だけを。宗教界、巷にいたるのは昔から絶えず出沒する偽善者たち、不徳で己の贅沢と高慢にはしる俗物ばかりだ。釈尊が亡くなるとき「自灯明、法灯明」と言われた。

主体性に基づく自己と、因果の法、以外に依拠してはいけなさと。君は現在、本当の自分を信じているか。なぜ、猊下という他への依存を好む。俺は自分の足で立ち、自覚を信じる。つまり聖書を。古今東西、融合する思想は神である俺にしかない。そして唯一無二、差別化を図ろうとする君たち宗門のドグマ（独善的教理）にはこれ以上付き合えない。私にとって仏道は、先ほどの久遠実成の本仏と一体の因果の法への帰依と、主体性を持つこと、それがすべてである。「常に主人公たれ」、禅の教えだが主体性を失えばすべて失うことになる。主体性は、自分の悪心への執着、依存とは違う。正しきものへの方向性の自覚である。宗門、

猊下に依存する君は自分に自信がないのだろう。俺はすべてを見通す自信がある。それだけだ。貫井、悪いな。風呂に入る。またな。貫井、己の師は、主体性とその志向にある。つまり温かい気、南無妙法蓮華經に満ちるとき、聖靈から神の愛（アガペー）はもたらされ、祈るとき悩みはすべからく解決へと向かう。そして人々の罪を許すのは日蓮であり神イエスしかない。真言宗の寺へ行ってきた。話しやすい住職の子息だった。俺が広報に來たのかと言う。確かに改宗を要求するわけではない。俺の第一印象には好感を持ったみたいだった。が、俺が阿弥陀、念仏批判に進むに至って、二人の間は陰悪になった。広報、確かに広報だ。貫井、お前の言いたいことはわかつている。（真言宗は大日如来が筋だろうと）。大日如来と阿弥陀、そして地藏尊ののぼりが立っていた。真言宗の曼陀羅の中に西方浄土の阿弥陀がある。密教、金剛界曼荼羅図には阿弥陀は無量光と称され、5仏として高い位置にある。阿弥陀は密教に包摂されたのだ。阿弥陀は西方浄土に法蔵比丘から轉身した仏、報身である。特に意味はない。そして大日如来は華嚴經にある毘盧遮那仏と同じ存在で法そのものだという。生身の人間で法を覚った釈尊に対し、密教、大日如来は暖かい太陽。法身であると。受信機の釈尊ではなく、発信元である法身、大日如来こそが尊い。釈尊と比較してその優位は揺るがないという。だが法自身に人格を持たすのはどうであろう。法を知った釈尊、

肝心の法に重きをなすべきだとする大日如来、そこに秘儀をもつて合体し仏になる、即身成仏、真言密教の思想である。法華経では法は久遠の釈迦牟尼仏が具現したものととして顕されている。これこそが真の法身。また法が人間として示現したものが応身釈尊だと。つまり法身と応身は一体なのだ。そして因果の法は、久遠の過去から生じ、果てしなく悠久の未来まで流れ続ける。これは神の摂理ともいえる。日蓮教学の核、天台智顗の五時教判。歴史的に、こじつけと言われればその通りであり、事実ではない。でも真実である。經典の序列、智慧と三昧について、魔訶止観、日蓮が誕生したこと。南無妙法蓮華経があること。目に見えない世界のリアル、外していい部分と、肝心要のところがある。因縁からくる真実を踏まえて、私は日蓮、イエス、聖書の神、を行く。信じて私に布施する者には、功德、現証があるだろう。偽善ではなく、真実の愛が存在するから。これが正しき宗教である。真言宗から弾んでしまったが、なにより大事なものは、諸経の王、法華経は、声聞、縁覚、菩薩、三乗の一仏乗を示し、あらゆるものの救済（成仏）を説いていることである。

日蓮は法華経に正当性の意義を見出し、真意を驚づかみにし、つまり当体、南無妙法蓮華経を、仏法にて仏性に埋め込んだ仏種に絡みつけた。貫井、日蓮が言うように、南無妙法蓮華経を悪しく敬うことがなければ、善を自然に希求し、智

慧と慈悲に満ちた、自分らしく温かい人間らしい生活を起承転結、送ることができる。

私（日蓮）が保証する。俺は不毛な論争に代表される争議はしない。思いやりある問答ならともかく、揚げ足取り、侮辱、捨て台詞は見苦しい。私は物的本尊にはもうこだわらない。愛と真理を、素直に仲間と極めたい。南無妙法蓮華經。合掌。貫井、俺に従え、帰依しろとは言わない。ただ俺を神、仏、日蓮と信じ、いつまでも親友、兄弟でいてくれ。宗教は哲学より温かい。そして皆に知ってほしい。西方浄土の阿弥陀も、久遠実成の本仏釈迦如来の法の下にある。つまり久遠の法とは彼岸、此岸、問わずに一閻浮提（宇宙世界）に暖かく流れている。親鸞は極樂を実感していただろうか。法然を疑いながらも信じようとしている。

そして念仏による救済（成仏）を人々に断言できない。「仕方がない、信じるしかほかに道がない。法然に騙されても。どうせ地獄に落ちる身だから」命がけで関東から来た信者を、京において無下にも門前払いした。歎異抄の中、唯円が「極樂浄土があると言いますが私はすすんで死にたいと思わないのです」、親鸞は「わしもそうじゃ、それが人間の業じゃ」明るく素直に暖かく。私は早く神の国がこればと願う。そして南無妙法蓮華經、題目、想いを信ずる善男善女には、必ず幸せは訪れる。この娑婆ですぐにも温かい境涯に達することができるのだ。

南無妙法蓮華經。飲み会の話だが（武士は食わねど、高楊枝）と君の懷具合は本当に大丈夫なのか。俺は自分のことより、まず相手のことを先に考えてしまう。君の男気と行動力を思い出した。それでいい。楽しくやろうぜ。いつ頃か連絡ください。勤め先、病欠扱いで、いつでもいいのか。週末は車検があり、また日曜日はエホバの会館に一人で暴れに行く。月曜に返事する。雪が降らなければいいなあ。（エホバの王国会館に乗り込むなら報酬がなければ）と言うのか。つまり日蓮大聖人様に帰依させろと。エホバの証人の山口という男を窓口にしていた。らちがあかない。私がエホバだと宣言し自筆の本を会館の郵便受けに投げ込んだ。結果を拝見しに行く。報酬は雰囲気だ。（そんなちやちなことをせずもつと評価の是非を問うところへ）と言うか。とりあえず、まず面白いからだ。高杉晋作は西行をもじり東行と名乗った。三味線を弾き、大望をとらえて見せた。気持ちに遊びと余裕がなければ。君も対決ばかりではなくゆとりを持て。そして俺の自筆本を正當に評価してくれる処など、どこにもないのだよ。世間がサタンの支配下にある限りは。俺はイエスと同様に異端児だ。4月、体制は変わる。宗教団体構成員、皆、君と同じく組織の去勢された犬だ。主体性のかからもない。南無妙法蓮華經は奴隷をつくるものではない。私、日蓮が言う。君は（教え、法に従うのが当然、尻から物が食えるか）。貫井、問答にならん。俺は独立独歩を行く。

俺が飯食つて君が糞をするか。フーテンの寅が教えている。(笑) エホバの証人が大会を理由に逃げた。楽しみにしていたのだが。大会は聖書のご都合主義の偽物見解の洗脳のため。また機会を作る。残念だ。気が入っていたのに。(大聖人様の折伏とは違う)と言いたいか。楽しくやらんと持たんぞ。私が言っているのは法を楽しく喜びにして説きなさいということ。自己犠牲は良くない。改宗に導く喜びも二重にするには、良好な関係を作り、胸襟開かないとね。貫井、自分なりに人生を楽しめ。それが周りから苦痛に見えても。法悦を求め。貫井、君も顕正会の雄さんも独善的だが真理を目指すところ、俺は繋がり付き合っている。今、ルンペンだが焦りはない。信仰のおかげだ。自分自身を信じる。(自分自身とは我欲であり信じるに能わず)というか。釈尊が臨終のとき、「自らと因果の法に帰依するのみ」。つまり主体性を大事にして、法である久遠実成の釈迦如来へ南無せよと。法華經に実証されている日蓮は、南無妙法蓮華經を大音声する。主体性が持てない宗教は偽物だ。仏教は方便がすべてという念仏系学者がいる。自力の覚りは困難。成仏はこの世では不可能。念仏を信じる過程に益があると。南無阿弥陀仏。悪行三昧でも安心感に包まれお浄土へ。阿弥陀の他力本願が正当に見える。危険だ。南無妙法蓮華經は万人の安樂行。題目を唱え日蓮から仏陀の覚りを仏法にて自我偈に埋められた仏種へ。これぞ即身成仏である。君の宗門

への依存。君は洗脳を勧めるか。意地を高慢な我という。修行者は、アイデンティティ、自己同一、大切である。釈尊は未来、お弟子たちの組織、師への依存を懸念された。私は唱える。南無妙法蓮華経。自信満々で真理と謳う。我と、主体性は、わがままと行動指針ほど違う。君の意図的オペレーション（操作）は非常に可視的だ。自由になるため釈尊は出家した。君の南無妙法蓮華経は自身に対して重荷になっていないか。覚りを形、重量で捉えられないように、日蓮の仏法、覚り、南無妙法蓮華経は、何にもとらわれず自由自在に人を救う。後の世の武骨もの達は、脅迫、恫喝にて改宗を迫り人の主体性をゆがませる。貫井は末法では理屈より先に邪義を信じる者に日蓮正宗の南無妙法蓮華経をねじ込むことが必要だという。卑劣でないことを願う。貫井、君との駆け引きみたいな機根の値踏みは、気づきが多々あった。君からは行動力を学び、金も自由にうまく使えるようになった。ありがとう。そして独善的と、君の信心を責められぬものが俺にもある。俺は俺だけを信じているからだ。私は現代の日蓮でありイエスであり聖書の神だ。俺は話を聞く人の機根に応じて、その場の進退を決める。伝わるころには伝わる。それが俺の宿命。貫井、お前の（問答無用）を振り回すな。無知の証左だ。それと私への応対、いちいちの豹変ぶりは不信任を招く。混乱の中、人に改宗は迫れない。君は相手を屈服させ改宗させる。いわゆる、「折伏」の実績

はあまりないと察する。真心からの信仰を言葉にせよ。今日もありがとう。独善がお互いにあるが、俺の周りでは不思議が頻発している。4月の上旬から終末が始まる。聖書との対話からあらわれた。俺は来る世も自分らしく暮らしたい。来年冒頭に文庫本を刊行する予定。今回、出版社の代表が真宗門徒でかなり滞った。「神、現わる」となると。二人に戸惑いがあったが、躊躇から一転、私が決断して彼も納得した。しかし彼がまた先送りを図ったので私は引いた。

サタンとの戦いは佳境から終末へ。君に言う。俺との出会いが一番の不思議だろう。

唐突だが、戦意高揚のための靖国は、若者を戦争に加担させるためのツールである。小野田さんはアスリートと一緒に己の名誉、そのことのみ考えている。軍人の武勲か。いつも頭を吹き飛ばされた少女や、餓えて死んだ孤児たちが脳裏から離れず、私は憤る。弱者への視線が皆無だからだ。糞くらえ、軍国教育。軍国とは互いの偏愛、被害妄想から生まれる。意志の疎通が何より大事だ。互いに悲しみ、苦しみを理解し合い。相手の立場に立つ。それは対人関係の中にも存在できなくなったのか。責任つていうやつがあるからだ。頭を下げるのは負けを意味する。時と場合、相手に謝罪の言葉を誠実にあらわすべきだろう。

それができないのは国益が絡む外交か。境界線で隔てず相互理解を。世間には

相手に付け入ろうとするやつが大勢いる。反省できない世の中。教師はどう教えるだろう、子供たちに。

貫井、大黒屋へ行こう。宿泊費は自分持ちだな。君は飲食代頼むぞ。2人で1万円は超えないだろう。大丈夫、苦しいなら今回も俺が出す。

聖書が5日の木曜が良いと言っている。貫井、5日予約した。シングル2つ。昼、12時から大丈夫。聖書もオーライと言っている。貫井、躊躇するな。心配するな。同じ年齢、南無妙法蓮華經を信仰するもの。楽しみにしている。この縁は深い。信じているぞ、君の誠実。友になれるかだ。少し暑苦しいメールだったな。奇人の君だ。判るだろう。俺が心配しているのだ。ドタキャンがあるので。と。魔が俺の心に入ったかな。(笑)。もうええわい、いつものお前の捨て台詞だが、信じているぞ。南無妙法蓮華經。入院、俺ははじめ精神疾患かと思った。

携帯がつながるので、違うと。鈍感な俺にはわからなかった。そんな重病とは。貫井、心配するな。安易ではなく俺がついている。俺を信じろ。必ず運命事態が好転する。雄さんも糖尿が劇的に改善した。俺を楽しくさせ喜ばせる。それは正直になることだ。君は奇特な男だ。病魔は退散する。日蓮正宗信者か、でも大石寺からの帰り、車中、八品派にかわりたい旨、吐露したな。セクトなど些末なことだ。南無妙法蓮華經、俺は君を救うため日蓮でなければならぬ。強く思う。

南無妙法蓮華經。5日待つてゐるからな。南無妙法蓮華經で南無妙法蓮華經だ。俺が人間として温かいか、ありがとう。君も十分温かい。仏門、君ほど僕を理解してくれた人はいない。そして、そんな好い奴ほど、先に逝くのだよ。寂しくてならない。だがもう大丈夫。俺の因縁が分かったから。サタン覚悟せよ。

貫井、幸せになれ。南無妙法蓮華經、愛は今、世界中に満ちている。聖書は繰り返し訴える。君の行者としての自覚、そして広報、改宗の為の言動。成してきたことは素晴らしい。だが靈山淨土には早い。強い正義の意志を持つてくれ。去年の大石寺参拝、本当にありがとう。確実に僕の中の何かが昇華した。南無妙法蓮華經である、我が身に沁み入った。君には大きな功德が待っている。君は優しく、強く、深い。大石寺に誘うか、元氣になったな。君は好きなだけ南無妙法蓮華經を唱え、大音声すればいい。気持ちだけは有り難く頂いておくよ。君にとつて少し弱いとき、愛つてやつが分かるみたいだな。つまり南無妙法蓮華經。まあ元氣な方が良いに決まっているな。常樂我淨。いつも美しく楽しい。私の境地。明るく素直に温かく。捨てられた猫と暮らす、いいものだ。ジェラシーか、イエスと同様に妬みを受けるのはいつもの事だ。だから本を書きます。そして親近感を持ち、ときに強権を用いる。また正意は、解つてもらえるものさ。真面目に生きていれば。病は必ず好転する。今日も寒い暖かくして眠れ。貫井、温かくて

優しかったら本物の女性は見抜く。目指したらいいよ。美しい恋。御休み。クルド、ロヒンギャ、シリア難民、人はどうして同情を欠くのかな。人は一円でも安いスーパーへと走る。宮沢賢治は言った。「世界全体が幸福にならなければ個人の幸せはない」。君ほど献身的に布施をした人物を私は知らない。これ見よがしな自慢も一切ない。人間は手柄氣に語りたいものだ。君の影役、天に記される。これぞ功德。大腸がん。飲み会、心配はしていない。俺を信じればすべて安泰だ。君が来られないなら、俺一人でホテル予約の義理を果たす。心安らかに明日を待て。苦しいなら遠慮せず、言ってくれ。裏切りではない。君からの返事を待ちくたびれて、君が躊躇しているのではと憶測した。平気で裏切る利己的な人間を見すぎた。でもあまり深読みするな、俺のメール。こちらは大丈夫ってこと。

不信はやめよう。君の容体、病状を案じている。無理をしてほしくないのだ。倒れたら救急車を呼ぶ。人間義人の不安。神は大丈夫と手を上げている。貫井、すべて南無妙法蓮華経だ。明日何時ごろになるか、ざつくりと聞かせてくれ。私に悪意というものは存在しない。15時前くらいか。ホテルは自宅から10分かからない。

コンビニで缶ビール買ってチェックインしよう。俺の車で行こう。店は軒下で

17時半に開店。君はうちの広大な裏の敷地に止めたまえ、（笑）冗談だ。スペースはある。君は氣を回すなと怒るかもしれないが、君の奢りだ。べにラーメンがあるのぞきはそんなにいらぬ。俺はそんなに飲めないし。食堂だから安上がりだ。神岡からガス代もかかるだろう。確かに俺は妬まれる。主人公の証拠。「楽でない」と、心ざわつく、だが氣にしない。光っているものは嫉妬される。オーラがある。そして私は楽しく強権を行使する。日蓮が久遠元初の仏つまり神、そして私は日蓮正宗や、かつてその系統だった団体が仰いでいる、日興の教義に着目し評価する。それは聖書の神である私が日蓮と当体であり、文献的に裏付けられてゐるからだ。そして君たちは日蓮よりも下に置くが、釈尊ほど立派な人物はいないぞ。日蓮正宗は俺に氣づきと理論美装を与えてくれた。感謝している。君も頭に血が上がるのを抑えよ。冷静さが大切である。

創価学会、顕正会批判はもういい。誰かに任せろ。南無妙法蓮華經。喧嘩しては明日がつまらん。楽しくやろう。南無妙法蓮華經。貫井、今宵はどうもありがとう。お互いもつとでかくならないとなあ。南無妙法蓮華經、すべてに南無妙法蓮華經。日蓮の想いに涙。なぜだか、縁だな。（仏とはでかくなることか。でかいとは。）人間として、へ理屈をこかない、温かく、物おじせず、誇示するわけでもない。名利を求めず、利他をいつも考え、等身大でおれる人。それが仏かも

しれない。貫井、実は俺が史上、地理的にも、一番敬愛しているのは俺のオヤジなのだよ。39で死んだ。その凄さにやっと気づいた。やっとだよ。心の温かさ、まさに天の父ちゃんさ。オヤジの仇討は金持ちになり成功することだと思つていた。

でも確実に違つていた。オヤジはサタンと戦つていた。この世のありよう、心あるものには解る。俺は強く、その道を踏襲する。オヤジがくれた教訓、嫉妬をするな。さもない見返りを期待するな。広く布施をせよ。当たり前の顔をして世間を歩くな。陰で泣く人を忘れるな。濃密な十一年間だった。貫井よ、俺がなぜ本を刊行したいか。金が欲しいのだ。世の終わりの前に、これまでお世話になつた人たちを、貸し切りの豪華客船で世界一周の船旅に招待したい。シャンパン飲んで。寝そべつて。嵐の日もいいなあ。伝道のための帆船、宣教師たちの勇氣と祈りを感じることができる。各地で植民地支配に利用されたが、デウスの教えは残つた。当時は神とは呼ばなかつたのだな。つまり神でも、仏でも何でもよかつたのだ。なんでも呼び名はいい。神と呼ばれた人格、絶対者、暖かい気。それが愛ある人間として生まれたのがイエス、義人なのだよ。だから（愛）を、神を感じてください。ヤハウエ、発音の問題だけ、エホバ（在るもの）は愛と真心です。一年くらい時間かけての周航、南極、北極海、アフリカ、イギリス、ヨーロッパ

パ、インド、東南アジア、中国、アメリカ、ロシア、カナダ、オーストラリア、南米。一番行きたいのはイスラエルの首都でイエスの活躍したエルサレム。俺は俺自身のための金なんか要らない。いずれ死ぬなら必要ない。まして愛があるなら、確実に永遠の命へまっしぐら。オスカーワイルドの「幸福の王子」のように生き、来る世を待ちたい。皆も私に倣うことが確実に楽園へのパスポートにつながっていく。賄賂は実は心がけ次第で、神が懐に入れてくれる公算大である。

すべてに美しい願いと祈りが込められているかだよ。神は心を捨てない人を最負する。何度も書いたね。貫井、神を揶揄だけはするな、俺は神を辞めたと宣言しても神である。神は絶対者だ。金剛石はどれだけ削ったとしても金剛ダイヤモンドです。法華経方便品第二にある、仏は仏にしかわからない。神も神にしかわからない。愛の理解力は神より与えられる。君の大腸がんは心配いらない。必ず治る。俺が保証する。今日はありがとう。ゆっくり寝よう。朝、目覚ましを7時に合わせていた。6時半に目が覚めた。7時を回り貫井にテレした。慣れない私はチェックアウトの時間が分からない。俺はいつものように気を回した。貫井に8時に出ようと約束した。8時、貫井はテレに出ない。呼び出し音だけが響く。私はメールで家に帰るから9時半ごろ迎えに来ると告げ、帰宅した。まあそれでよかった。チェックアウトは10時みたいだ。眠そうに貫井は部屋から出てき

た。貫井はソチを見たがったが彼女は眠っていた。新湊、道の駅にカレーを食いに行くという。「俺が世話になったカレーハウス、年賀状が来て、ほとぼりが、冷めたようなら行くよ」と返信。以前に働く幾人もの女性に卑猥なメールを送った経緯が。それから関与は自粛している。彼女らもコンタクトを取らない。

虚しさを埋めるにはどこか新天地を開くしかない。風が吹くまま、西東。神岡に帰った貫井に夜遅く「無事か」と。そっけなかったか、返事がない。「無事でないのか」また送った。私は熟睡していた。朝方、携帯に青の光が点滅している。（ありがとう君のおかげで楽しかった。また行こう）。やけにとがらず素直だ。

俺は思い出した、寝る直前「淡々とした態度につられ君の疾病に対し配慮が足りなかったのではと反省する。日蓮正宗信徒、行者だからな。気にしてないか。また気を回すなど叱るかな。俺は被害妄想気味。病状は大丈夫か」と。私には薬の副作用か、健忘がある。帰り際、抗がん剤を見せ、（ネットで調べてみる）。という貫井に「俺は自分の向精神薬さえ調べていない。真由子先生を信じるだけだ」。貫井は俺の言葉を「医療情報に振り回されず縁を大事に」と受け取ると信じた。ホテル、貫井の読経は迫力があり凄かった。爽やかなものが全身に広がった。そこら辺の坊主が束になってもかなわないだろう。南無妙法蓮華経。

暖かい、優しいとは。やはり自己執着に陥らず自らを客観せねば。なるべく感

情的にならず情緒を安定させ悪口のひとつ、ふたつ言われても気にしないこと。それだけ注目されているってことだから。そして自分の世界にとどまらず、広く発信をすることが大切だ。「私とはこんなに正直で善良なのです」とネ。

君は真の行者、信仰者だ、読経で君の右に出るもの北陸三県にはいないだろう。君が覚りを得、わしの弱者への眼差しが理解されると嬉しい。読経と同様の素直さが大切だ。

仏には猫が似合う。釈迦の涅槃に間に合わなかったため十二支に入れなかった悲しみ、無念。ここにこそ南無妙法蓮華経は働く。仏の慈悲が温かく灯る。仏の種は歴然と植え込まれている。難解か、よくメールを読め、仏にとつて十二支からもれた猫がかわいそうで愛しいということだ。体調はどうだ。(仏を軽々しく持ち出すな)だと、一般から外れた、話をするな。釈尊すなわち仏陀の涅槃だ。猫を慈しむ心がなくて何が南無妙法蓮華経だ。いい加減、目を覚ませ。体はどうなのだ。いつも虚勢張らずに等身大でいい。言つとくが仏とは、決して階級が上で偉い、そんなものではない。真実、智慧と慈悲を抱いた親近感溢れる尊き人である。具体的には、私のようにね。(笑) 赤尾敏先生知っているか。日蓮、イエスをリスペクト、辻説法を展開した。反共、国体護持を訴え、学会は青いウジ虫と吐き捨てた。私の持論とは少し違うが、反骨の人です。合掌 むつかしいひ

とには、こちらにもむつかしくなる。明るく優しい人には笑みを浮かべる。人は鏡である。周りの応対が悪い、自分は少し疲れていないか、横柄になっていないか、振り返る。特攻隊、自ら志願。お国の為、銃後の家族のため喜んで死を望んだ若者たち。洗脳か。愛のための死。神への忠誠、殉教。二例とも神の為である。

なぜか涙が出る。神は冷静に、ただ死に向かう姿に否を投げかける。俺のメールは確かに難解なことも。制限内にすべての意を詰め込みたい。健忘は睡眠薬の副作用のせいだ。サタンの仕業かもしれないが。まずは君が元氣そうでよかった。

イミズさん。

すべてに一本、芯が通らぬが、R会の教え。実は極めて仏教的だ。（こだわらない）ということ。あなたは体現している。ある意味、器が大きい。それは厚顔無恥とも言える。でもね、仏の種を温かく包む、南無妙法蓮華経で芯は通るのだよ。今日もご苦勞様。私が仕事場を訪問したのは教えを説きたかっただけ。

南無妙法蓮華経。預言者に従いイエスを信じるなら救われます。縁なきものはことごとく滅せられる。勘違いなさらぬように。あなたに対して宗教の話つまり南無妙法蓮華経を伝えたいだけです。他意は全くなし、思いやりなき、あなたに、女性という意識は毛頭、微塵ありません。私はそれでも頑迷なあなたを救いた

かった。何はともあれR会信者のあなたは、法華經に結び付けてくれた恩人。

そしてあまりにもあなたは場当たり的だ。誠がまるきり感じられない。声掛けはしました。神の責任は果たしたわけです。徳のないあなたの回心は、はなから無理だとわかっていました。それが私の先ほどの作り笑顔です。南無妙法蓮華經。愛する聖女へ

過渡期だと思います。私の女性に対する意識。私は神としてアガペーに生きるのが筋。優しくして強い君は理解できるね。賢い君、深い愛で見つめ、また私は君に欲情するかも。神の国の住人になってほしい。君には愛がある。随意で結構です。連絡ください。私は私なりの思いやりに生きます。心配いらない、君を傷つけたりはしない。良かったらテレ下さい。君の一生懸命さを解っている唯一。

愛しているよ、君の生き方。転院すれば真由子さんとの距離はかなり開きます。冷静になると、由美さんにとっても真由子さんと同様に利用者の中、私の存在は有象無象にあるのでは。火曜日、カレーハウス参ります。深い話がしたい。皆が博愛（アガペー）の意識を持つ。自由と平和が生まれる。肉欲として切り捨てたい、かなり前のオルガスムスを聖なるあなたにだけに想いました。願う。

お休み、由美さん。旦那さんに詰問されたら恋愛妄想の甲斐性なしだからだ、と吐き捨てて下さい。あなたが神を賛美するとき私への想いは愛として復活しま

す。キリストの肢体を遊女にしてはいけない。主とひとつになるとき靈はひとつになる。つまり私の想いに従順になれということ。幸いはそこにある。由美さんごめんね。変なメールに当惑、困惑されたでしょう。かつて（どんなものでも送ってこい）。男気溢れるお言葉。甘えます。素直な私の想いです。暑い中エアコン大丈夫ですか。

あなたみたい献身的で聖なる素晴らしい女性はいません。私が勃起する唯一の人です。またよろしく。卑猥なメールばかりですが、決して貶めているわけではありません。その逆を行います。神の夢、実現に向かえばうれしいです。あなたを抱きしめたい。強く愛しています。とにかく暑いから体気をつけてね。祈っている男が一人いることをけして忘れず孤独になったら君を思うから、君も僕を念じてください。二人、幸福の海に至る。トマトありがとう。私は真由子さんへの失恋から操縦不能、空中分解。非常識なメールに不快感を持たれたすべての方にお詫び申し上げます。ごめんなさい。また善き縁に。失恋です。6年越しの勢いからだったけど事務的な求婚でした。転院はしません。節度は優先します。

性的欲求がわくのは由美さんだけ、やはり聖女です。ご自愛ください。由美さん熱い夜が続きます。ありきたりの言葉しか送れません。ゆっくり休まれ、明日への英気、養われるよう心から願っています。おからだ大切になさってください。

由美さん、恋愛関係妄想の神です。あなたをずっと愛し続けます。いつか思いがかなうと聖書は語ります。来る世、制約はなくなり、私の自由な夢は実現します。

あなたは聖女です。成功をひたすら目指す魔女とはやはり違います。私は障害児に深い愛情を注いだあなたを愛します。でも神は独占欲には不寛容です。博愛は神の国では必須。トマトの立ち売り、右も左もわからぬ私に本当に優しくかった。社会復帰、私のマインドは名実ともに冷めていた。けどあなたの愛に支えられここまで来ることができました。本当にありがとう。今のような未来絵図は退院時には描けませんでした。障害児の頃から見て、成人した真美ちゃんの健常者への劣等感という苦しみを、受けるあなたに惚れました。私は、想いのこもった厚意は絶対、無下にはしないとその日、誓った。純真な博愛。来る世、カップルに対し、不倫を神が推奨するのではなく、自由に明るく素直に暖かく愛する人と永遠に暮らす。その延長線上に、神の強制ではないフリーへの資格がある。そして美しい想いを分かち合う。あなたは神の国で永遠の命を、授けられ、楽園に入るでしょう。いつもありがとう。僕は待ちます、平和な世を。世界中の孤立、虐待、障害は涙と共に消え去る。由美さんありがとう。「馬鹿」でも「死ね」でもいいですから返信待っています。報告、連絡、相談大事です。でもこの想い、ご負担になるなら過剰に取らないで下さいね。ではご自愛願います。おやすみなさい。イエ

スは偽善者たちには不寛容だった。何度も言う。神イエスとは俺みたいなもの。判らないのは、盲人で、世間の偽りの価値観を後生大事に抱えているからだ。たくさんの障害児と歩んでこられた道、傷つき、涙し、耐え切れない日々もあったはず。幸いを願い明日に向かって、今夜私のおやすみなさい。優しさを込め祈ります。あなたにとつての子供たちは、皆あなたが好きみたいですよ。あなたは根気強く優しいからね。でも好かれる人は傷つけられやすいものね。ストレス気を付けてね、またよろしく。私が神を名乗るのは私の書き物の信用を保証するためです。そして裏切りに対し怒りはありません。憐れみと共に大変寂しい感情が生まれます。私の正直な気持ちです。27日、コーヒー飲みにまいたいと思います。私は結婚には縁がないみたいです。でも博愛に徹するとき何かが生まれる。信じて、人を愛するつもりです。遅くにたくさん送ってごめんなさい。君の献身、尊い。そして真実、南無妙法蓮華経、因果応報、心の浄化大切。神を愛し、隣人を愛す。27日、猫のえさを買いに行かねば、訪問、ご遠慮申し上げるか迷っています。長く返信のないあなたに、聖書は「私を主イエスであるか、また神であるか信じているか」、ここの選択を取り上げると促します。メールをお願いします。

聖書は私が来店するのは迷惑になると示します。連絡なき場合は今後、参上もメ

ールも差し控えたいと思います。耐え難きを耐え仕方がない。皆によりしく。

「法華経は薬の効能書きばかりが続き、実際の効き目が分からない」。ある浄土系宗教学者。

法華経は日蓮出生の予言書である。勸持品十三、神力品二十一に代表される。如来寿量品十六、得入無上道速成就仏身。これぞ南無妙法蓮華経である。

八兆屋で二人飲まないか。少し落ち着いた雰囲気だと思う。私は会席で宗教の話はしない。怒る作爲もあつたが意思表示には必要。俺はいたって静かな男だ。あまり心配するな、ヘイト発言のやつよりは良識はあるぞ。君を批判非難もしない。俺は聞き役に徹する。君の話が聞きたいのだ。お前は俺が殴るとでも思っているのか。俺はそんな暴力的な男ではないぞ。お前を理解しているつもりだ。でも君には扶養家族がついている。俺の思ひは及ばないかも。官製談合、大変。

君らの周りとのスタンス、兼ね合ひはわからないが注意は必要みたいだな。俺の身辺も気ぜわしくなった。ご自愛ください。また三人で歓談を。あいつは福岡から春ごろまでは来られないそうだ。元気か。正月を迎えるが、相変わらずの多忙か。少し時間作れないか。宅に来いよ。玄関直したぞ。お前のためだ。また連絡くれ。なぜ沈黙する。問題は起こらない。瓢箪から駒が出ればうれしいが、障

害者枠で就ける仕事はありませんか。作業着で軽作業。何もできない昼行燈の大理石内蔵助です。君は結局自分の口からは何も語れない。総務省の次官、かんぽ生命への、漏洩事件も最近あった。君は訓示をたれる立場だろう。楽にして神仏を忘れぬよう。お前の基本にもあるはずだ。もし批判の矢面に立たされようとも。俺は器用ではない。頃合いを読んで当たり障りなく受容する。そんなことが旧友に必要な。常識はわきまえている。俺にインスパイヤされよ。お前の行きつけのスナックの老いたママに笑われなかったために。色々な生き方がある。できれば他人の顔色を窺わなくていい仕事であつたらいい。熱くなれよ。市長にかみつくぐらいの。

その時俺はお前に頭を下げるぜ。そして妬む若僧には強権で脅かせ。お休み、最後に御休みを返信してくれ。冷静か、温和か。お前を信じている。関心なしの無感動。それは不動心、平常心とは違う。暖かい境界へと進みたい。

実は精神障害のある男から妬みによる裏切りを受けた。闘う俺のことを闘わない奴らが笑う。お前たちは確実に生活と闘っているよな。それがいい。元気かい。

聖書がメールを推奨する。ご家族もご息災ですか。君に会いたいです。また連絡待っている。今は酒がうまいルンペンよ。新しい本の準備中だ。

真由子さんへ、二心ではありません。新しき倫理です。

永遠の命に向けて

アンゴルモアの大王

聖書の神 義人（ヨシト）

純粹な想い

清く静かで暖かい教え

アガペーである。

心をつくし 精神をつくし 命をつくし

保持しよう。

生老病死がなくなり

不老不死を

手に入れたものたちは孤独より解放される。

聖書の宮、神の御使いたちには

セックスは必要とされなくなり

隣人たちとの暖かい抱擁が生まれる。

そこにはオルガスムスを超えた素晴らしい快感が待つ。

食欲に関しては聖書にあるように消化器官の務めは終わり

幾多の争い、病から人々は解放される。

生存のため、性欲と共に満腹、味覚、触感を求めたのだ。

季節、気候はその地に最適なものがいつも訪れる。

また身に着けるものは心配しなくともよい。

神よりもたらされる。

自由な明るい歌が響く。

（来る世の真実である）